

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	株式会社タマツ
実習期間	平成 30 年 3 月 5 日～平成 30 年 3 月 9 日
学生氏名	本間 葵
実習プログラム	<p>1 日目 午前 オリエンテーション 会社説明 午後 回収された福祉用具の消毒・メンテナンス</p> <p>2 日目 午前 午後 助成紙おむつを各戸に配達</p> <p>3 日目 午前 午後 個人宅にてレンタル用品の契約手続き・モニタリング</p> <p>4 日目 午前 午後 法人営業同行・施設へ配達、在庫確認</p> <p>5 日目 午前 助成紙おむつ同行・納品 午後 鶴岡店舗での業務</p>
学び・気づき (300 字程度)	<p>私が実習を通し学び気づいた点は、相手に寄り添い、共に生きる喜びを分かち合っていることだ。お客様から「今使っている紙おむつより吸収力のいい商品はあるの?」という質問を受けたとき、カタログを見せ丁寧に説明している姿から、親身になって考え寄り添っているなど感じた。経営理念にもあるように『為に生きる精神』でより良い生活を提供しているなど強く感じた瞬間であった。</p> <p>会社内だけでなく施設内でもすれ違う職員の方に「お疲れ様です」とあいさつしていた。この姿から、商品を提供する側として施設との信頼関係は大切であると感じ、それを築くためには、あいさつからしっかり行うことが必要であると思った。福祉用具を提供する上で、自分から話すことも大切だが、まずはお客様や利用者の声を優先して聴くことがより良いサービスへ繋がると学んだ。</p>
今後に向けた 抱負 (200 字程度)	<p>失敗を恐れず何でも挑戦するということは私にとって大きな糧となった。失敗の積み重ねで人は成功へと導かれると思う。社会人は学ぶことがたくさんあるけれども、何事に対しても自分から挑戦し、吸収して立派な社会人になりたい。</p> <p>実習をしていく中で、お客様との距離が近く地域に密接しているなど感じた。以前から地域の力になれるような仕事をしたいと思ってはいたが、その思いはさらに強くなった。</p> <p>この経験を活かし社会に向け視野を広げ、様々な知識を身につけていきたい。一年後の就職活動に向けて自分がどのような職に就きたいのか考えていくとともに、今回学んだあいさつや礼儀を活かし頑張りたいと思う。</p>

<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>同じ出身大学の方が多く、緊張していた私にとって心強い存在だった。朝礼時の経営理念・スローガンの唱和は、社員がひとつの目標に向かう連帯感の向上に繋がるという意味がある。</p> <p>同行した際、疑問に思ったことを質問すると、わかりやすく丁寧に教えていただき、たくさんの学びを得ることができた。</p> <p>また、地域の方との距離が近く、信頼もあることから地域に根ざした素敵な企業であると感じた。地域と共に歩み、笑顔のために働く姿を間近で感じることでいい経験になった。</p> <p>短い間でしたが、丁寧に指導していただき、充実した5日間を送ることができました。ありがとうございました。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	